

施策分析シート（令和6年度）

No1

施策名	広聴機能の充実	施策No	13-02	部課名	区政広報部秘書課
				課長名	茶谷 内線 2160
関連部課名	総務企画部総務企画課				
行政評価	分野	VII	計画推進のために		
事業体系	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化		

目的	区民の立場に立った区民本位の区政の実現を図るため、区民のニーズや要望等を日常的に聴取する「区民の声」と、区政に対する区民の要望や意識を調査し、区政運営の基礎的データとして活用するための「区政世論調査」を中心に広聴機能の充実に努める。							
指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文			
		3年度	4年度	5年度				
	①							
	②							
	③							
④								
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明	
		3年度	4年度	5年度	6年度見込み	目標値(8年度)		
	①	「区民の声」収受件数（件）	2,906	2,487	2,281	2,700	2,700	「区民の声」に寄せられた件数（匿名も含む）
	②	「区政世論調査」有効回答率（%）	45.2	45.4	42.9	50.0	50.0	回答率50%（1500/3000）を目標とする
	③	Eモニターの委嘱者数（人）	83	92	100	100	100	
	④							
	⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
	給与関係費	17,226	17,931	705	地方税等	0	0	0
	物件費	1,959	2,728	769	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	27	27	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	7,609	5,719	▲ 1,890	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 26,821	▲ 26,405	416
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	26,821	26,405	▲ 416	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 26,821	▲ 26,405	416
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 26,821	▲ 26,405	416
貸借対照表	勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	1,089	1,305	216
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	1,089	1,305	216
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	0	0	0	特別区債	11,565	14,236	2,671
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	11,565	14,236	2,671
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	12,654	15,541	2,887
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 12,654	▲ 15,541	▲ 2,887
	その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	▲ 12,654	▲ 15,541	▲ 2,887
	資産の部合計	0	0	0				

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用では、事務・手続等に関する作業が多いため、給与関係費の割合が多い。
○物件費の多くは、区政世論調査の調査委託料となっている。物件費の増額は、区政世論調査の回答方法の追加に伴う調査委託料の増である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○「区民の声」「区政世論調査」はいずれも重要な広聴手段であり、これらの事業を中心に効果的・効率的な手法を採り入れながら区民の貴重な声を区政運営の基礎的データとして活用している。また、これらを補完する事業として、「Eモニター制度」を実施している。
課題	○「区民の声」の内容は、区の管轄外を含む幅広い分野にわたっており、所管や関係機関と連携し、迅速に対応し、必要な改善・見直し等につなげていく必要がある。 ○「区政世論調査」は、区民ニーズを把握し、各種施策に反映するための貴重な基礎調査であり、回収率の向上に努めていく必要がある。 ○「Eモニター制度」は、多くのモニターがアンケートに回答しているが、掲示板への投稿はモニターによって投稿頻度に差があり、投稿が少ないモニターからも幅広く意見を聞けるよう実施方法を工夫する必要がある。また、若年層（10代・20代）のモニターが少ない。
今後の方向性	○「区民の声」については、広聴機能の中核をなす重要な手法であり、区政の改善につながるよう、引き続き所管課と連携を密にし、迅速で適切な対応・回答に努める。そのために、受け付けた意見のデータ管理を効率化し、より迅速な対応を図るための手法を検討する。また、引き続き全庁に共通する事例や感謝の声の具体的な事例を随時、職員に周知することで、対応改善のきっかけ作りと職員のモチベーション向上につなげる。 ○「区政世論調査」については、設問や選択肢を精査し、調査対象者が答えやすいよう工夫するとともに、調査票封筒デザインや調査票のレイアウト等について工夫・検討し、回収率の向上に努める。 ○区政運営の基礎データを得るために全庁ネットワークに掲載している「区政世論調査」や他の調査結果について、全庁への周知を図り、その活用を推進する。 ○「Eモニター制度」は、引き続き、投稿のきっかけとなるようパブリックコメント等の周知を行う。また、若い世代にも応募してもらえよう、引き続き周知を工夫していく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
6年度	7年度	
推進	推進	区民の声や区政世論調査は区民の意見や要望を広く収集し、区政の改善に結びつけるものであり、優先度が高いため、推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のた めの分類		分類についての説明・意見等
		4年度	5年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
パブリック・コメント制 度の推進	01-01-15	696	876	—	—	継続	継続	区民等の意見を施策に的確に反映し、区民参加を促進するため、継続して実施する。
あらかわ・Eモニター	02-01-07	4,466	4,222	77	81	継続	継続	他の広聴機能を補完する事業として、リアルタイムで意見の聴取ができ、また即時性、費用対効果の点からも優れており、継続して実施する。
区政世論調査	02-01-08	7,025	7,495	1,904	2,665	推進	推進	区の重点事業や今後取り組むべき課題を把握するために、区民全体を対象とした広聴活動として効果的な事業であるため、推進する。
区民の声	02-01-09	14,634	13,813	5	10	推進	推進	「区民の声」は広聴の中核をなすものであるため、推進する。今後も区民の意見や要望を通して区政の改善が図れるよう、各所管部署との連携・調整をより一層強化していく。
合 計		26,821	26,406	1,986	2,756			